



NTT

NTT Information Sharing Platform Laboratories
NTT 情報流通プラットフォーム研究所

いまからはじめるIPv6 IPv6ネットワーク構築基礎

NTT情報流通プラットフォーム研究所
ネットワークセキュリティプロジェクト
岡田 真悟

- ・ **目的**

- 家庭・SOHO環境を対象としたIPv6ネットワーク構築法の解説

- ・ **主なトピック**

- IPv6インターネットへの対外接続の確保
- IPv6アドレス割り当てとデフォルトルータの配布方式
- LAN内部での端末設定のアドレス設定
- デュアルスタックネットワーク
- 家庭・SOHO環境でのセキュリティ

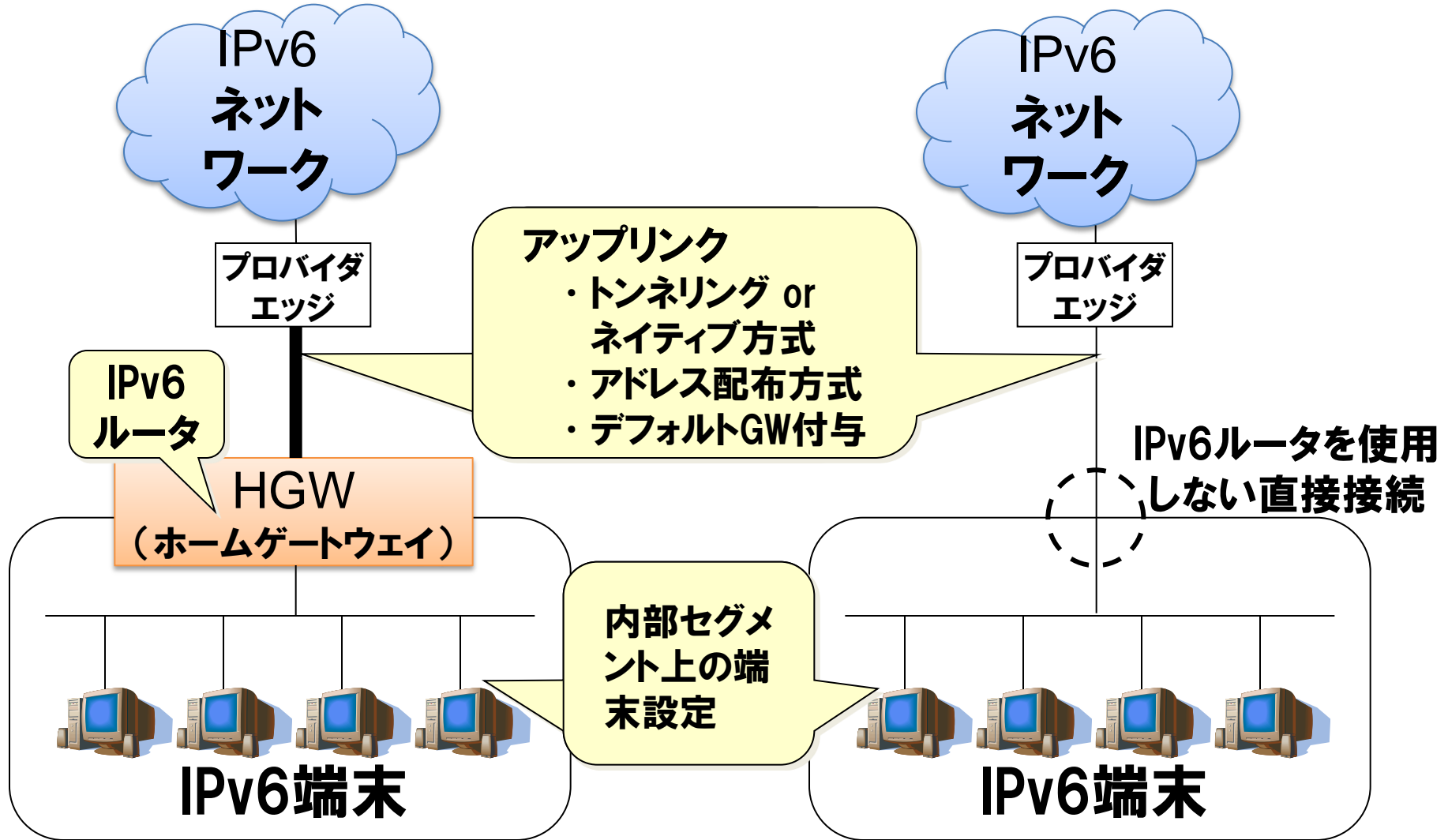
- [付録]

- ・ ヤマハ製ブロードバンドルータRT58iにおける設定例
- ・ ステートレスDHCPv6サーバの設定例
- ・ 家庭・SOHO向けIPv6ルータの現状

本セッションの想定ネットワーク

接続形態1

接続形態2



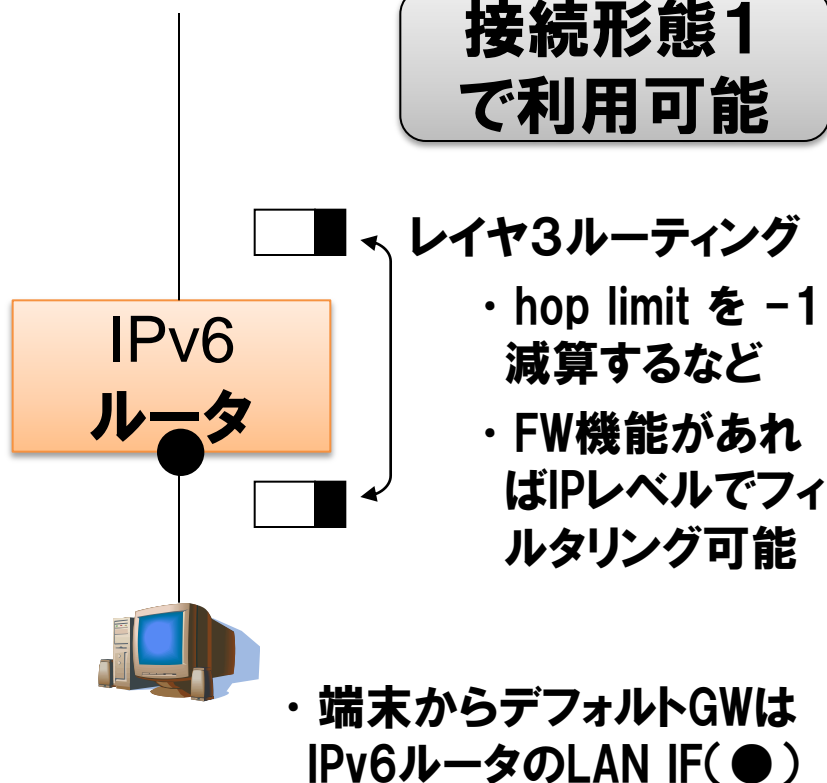
ルータの「IPv6対応」表記の注意点

ルータのパッケージに「IPv6対応」表記は2通りの機能の場合がある

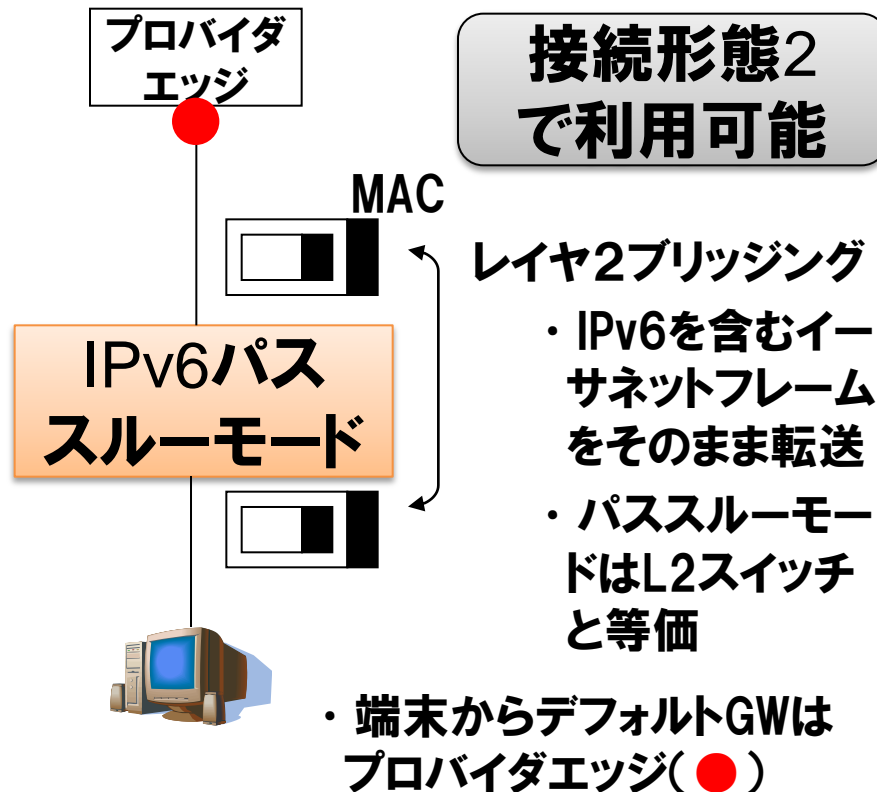
- ・ IPv6ルータ : 接続形態1で利用
- ・ IPv6パススルーモード : 接続形態2で利用

用途にあった製品を選ぶ必要がある

接続形態1 で利用可能



接続形態2 で利用可能



・ 目的

- 家庭・SOHO環境を対象としたIPv6ネットワーク構築法の解説

接続形態1, 2
の両形態を対象
とした説明

・ 主なトピック

- IPv6インターネットへの対外接続の確保
- IPv6アドレス割り当てとデフォルトルータの配布方式
- LAN内部での端末設定のアドレス設定
- デュアルスタックネットワーク
- 家庭・SOHO環境でのセキュリティ

[付録]

- ・ ヤマハ製ブロードバンドルータRT58iにおける設定例
- ・ ステートレスDHCPv6サーバの設定例
- ・ 家庭・SOHO向けIPv6ルータの現状

接続形態1
(HGW有り)を
対象とした説明

IPv6インターネットへの対外接続の確保

**現在または近い将来に利用できる
対外接続サービスや技術の紹介**

個人向け・法人向けともに提供ISPが増えてきており選択肢が広がりつつある

- ・ IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースで取りまとめられている
 - 2010年11月15日時点で13社64サービス



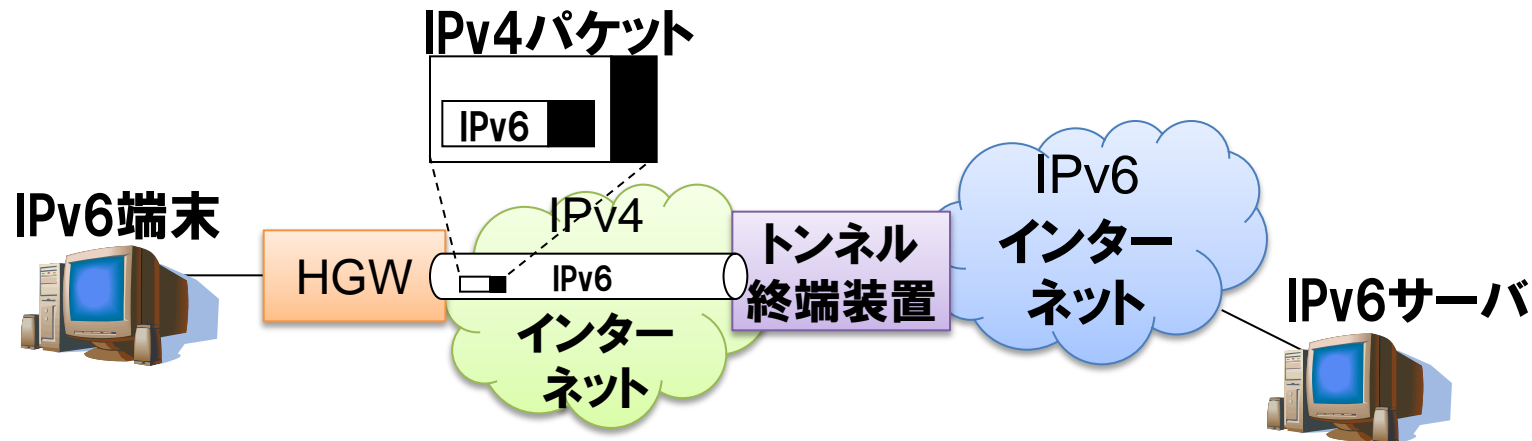
The screenshot shows the website for the IPv4 Exhaustion Task Force. It features a navigation menu with categories like '概要', 'ニュース', 'セミナー&イベント', '活動報告等', '参加団体', and 'よくある質問'. Below the menu is a section titled 'IPv6サービスリスト' (IPv6 Service List). A disclaimer states that the list is as of November 15, 2010. Below the disclaimer is a list of participating companies and their services. A table at the bottom of the screenshot provides details for the services offered by Avis (株式会社電算).

事業者名	サービス名称	サービスカテゴリ	サービス内容	URL
株式会社電算	avis	アクセス	IPv6トンネル接続サービス	http://www.avis.ne.jp/service/ipv6.htm
		アクセス	イーサネット専用線接続サービス	http://www.avis.ne.jp/service/lease-line.htm
		アクセス	構内(データセンター内)専用線接続サービス	http://www.avis.ne.jp/service/premises.htm

(出典) <http://www.kokatsu.jp/blog/ipv4/data/ipv6service-list.html>

NTT スタティック (IPv6 over IPv4) トンネル

- IPv4インターネット上で IPv6パケットをカプセル化して転送する方式

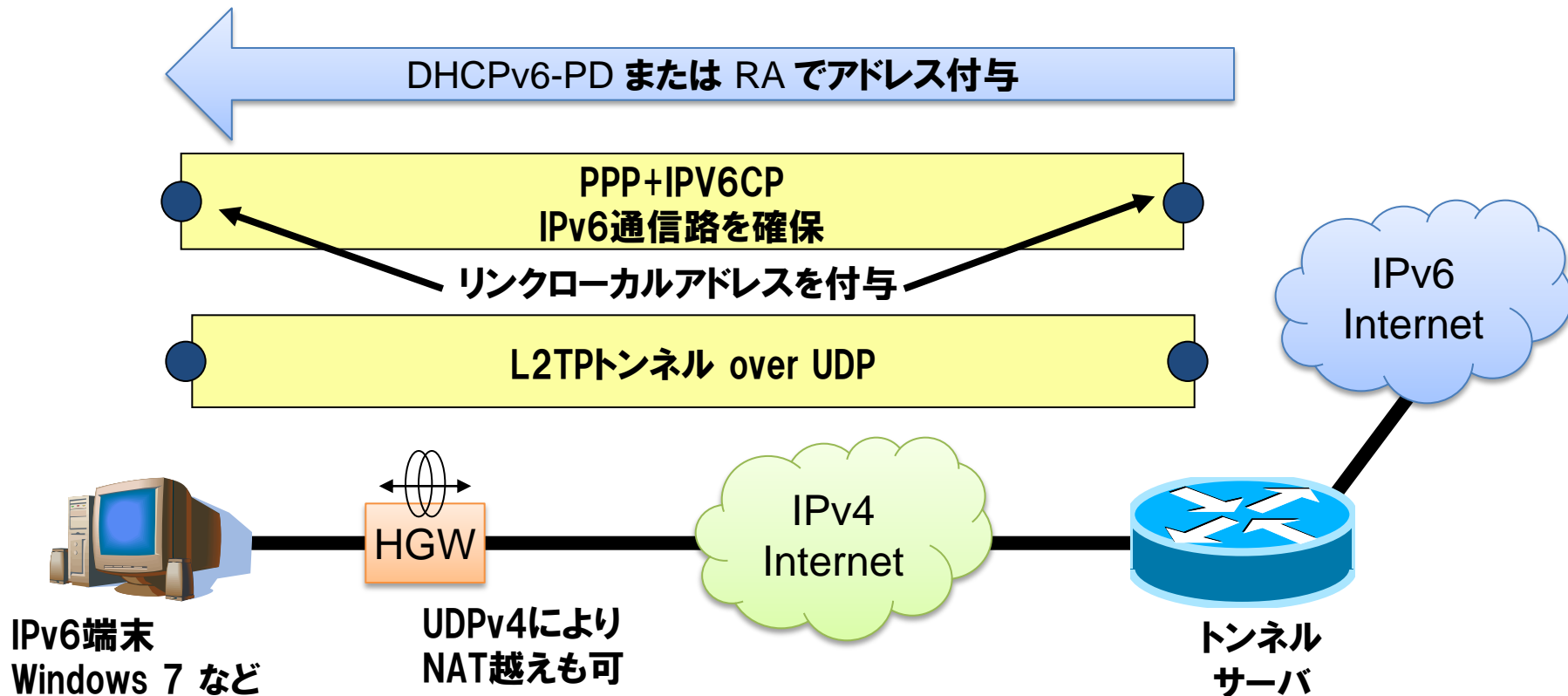


- いくつかの主要ISPが固定IPv4アドレスユーザ向けに提供
 - 代表例
 - OCN : OCN IPv6トンネル接続サービス
 - IIJ : IPv6トンネリングサービス
 - Yahoo!BB : IPv6インターネットサービス
- HGW, 終端装置の双方にIPv4アドレスを指定する設定が必要
- IPv6端末から直接トンネルを張る場合、HGWを通す設定が必要



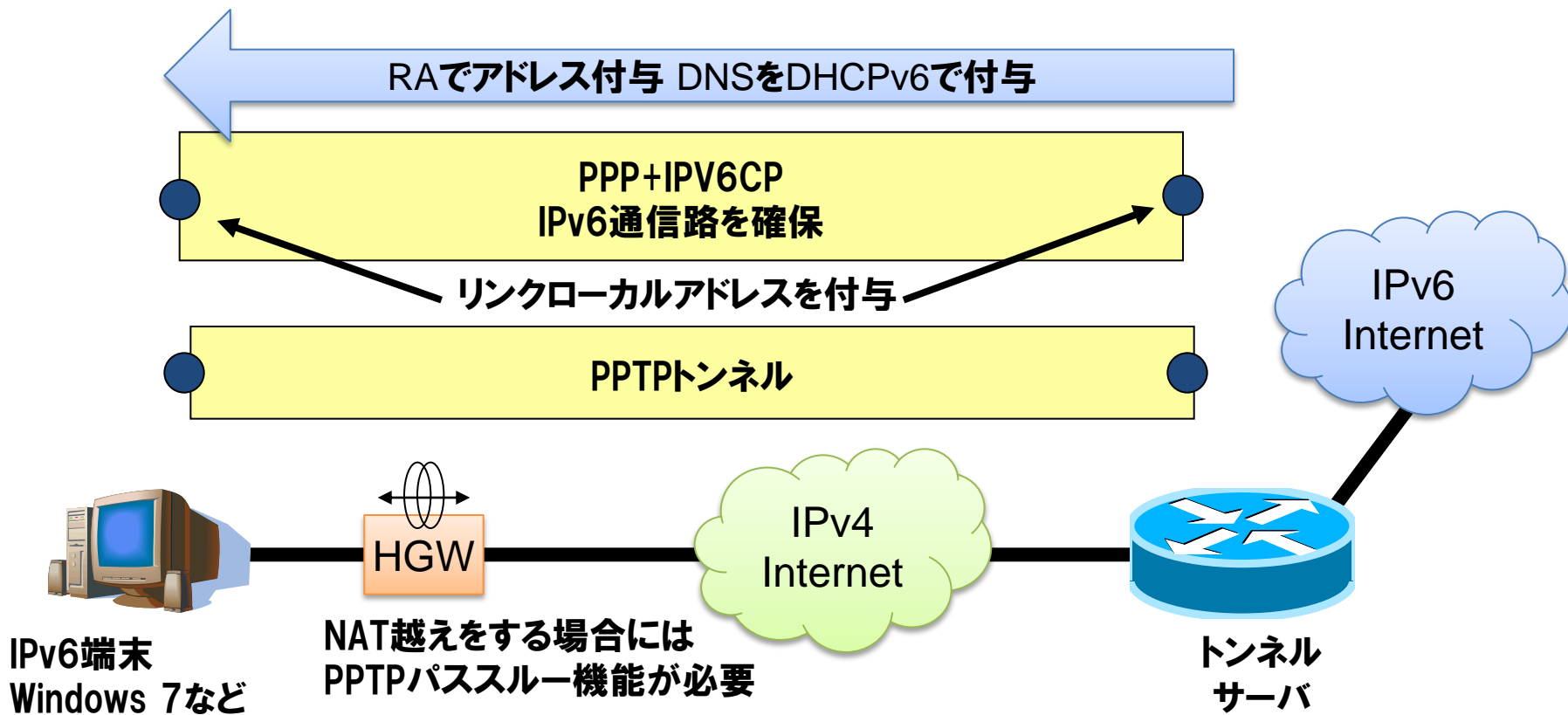
NTT OCNによる個人向けIPv6インターネット接続サービス

- ・ OCNが有償で提供するオプションサービス
- ・ 固定IPv4アドレスは不要
- ・ プライバシーに配慮し 二つのプレフィックスを選択可
 - 固定プレフィックス (/64ひとつ)
 - 動的プレフィックス (接続のたびに値が変わる /64をひとつ) 両者を使用可能
- ・ Windows XP, Vista, 7 端末のサポートの他、コレガ社から対応ルータが発売されていた



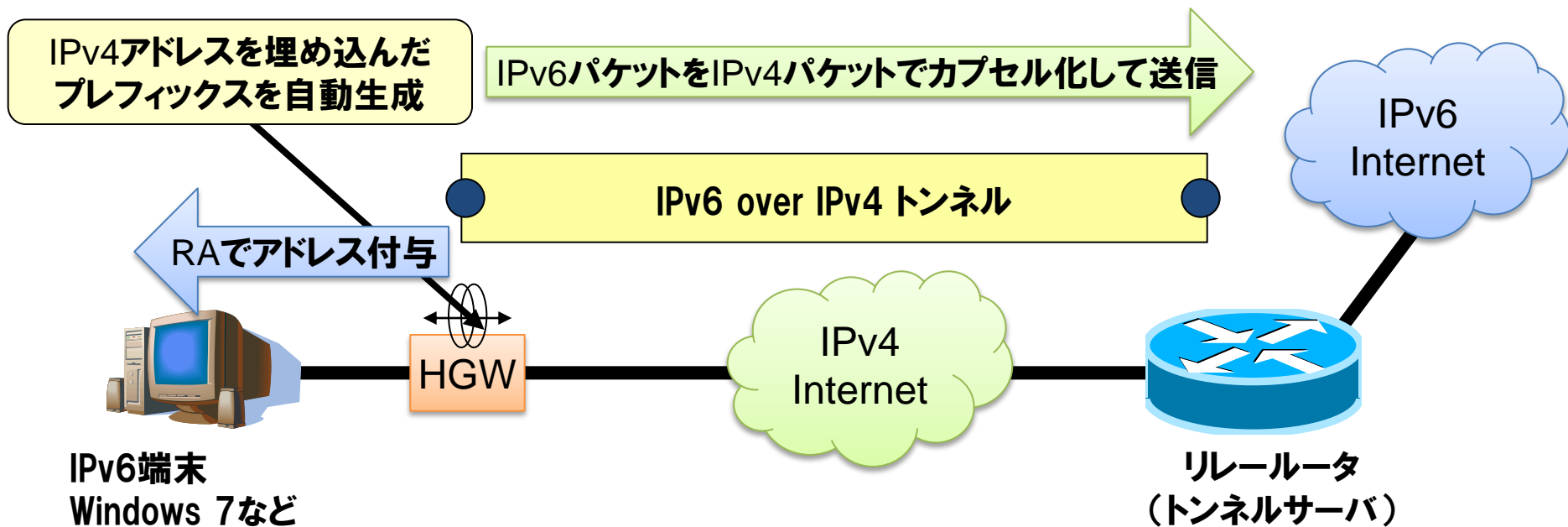


- ・ IIJが自社の顧客向けに無償で提供するオプションサービス
- ・ 固定IPv4アドレスは不要
- ・ /64 サイズのプレフィックスが付与される

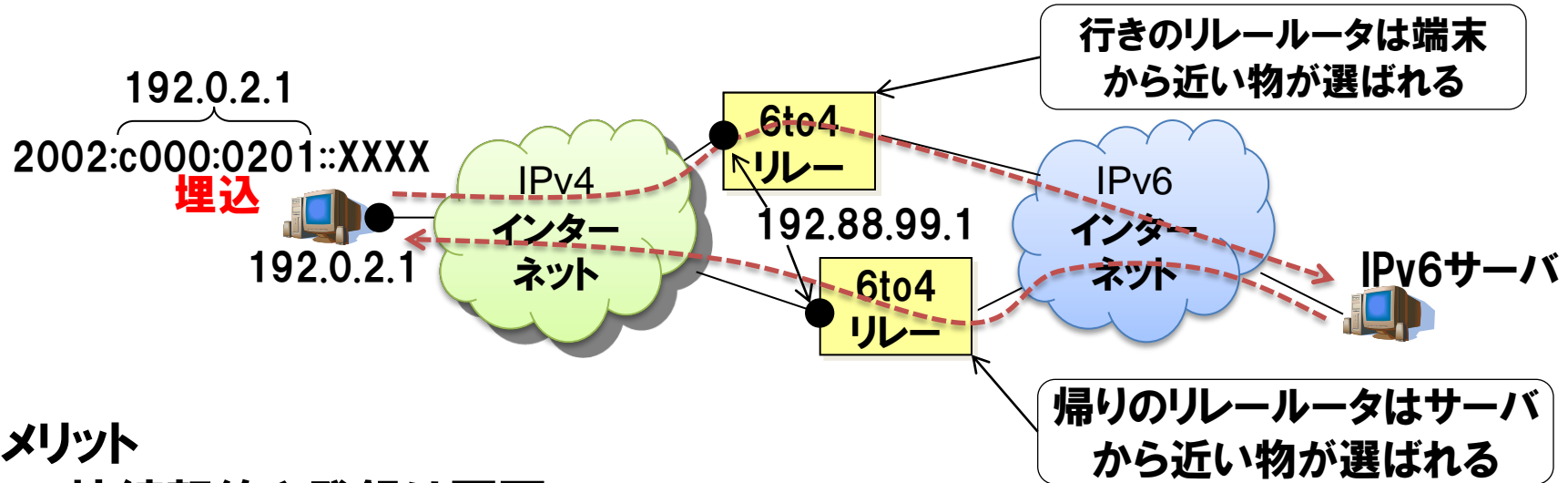




- Yahoo!BBが自社の顧客向けに無償で提供するオプションサービス
- 6rdという IPv6 over IPv4 トンネル技術を利用
 - 6to4と類似の技術。リレールーターはISPのものを利用する。
- HGWからトンネルを張るので、HGWの設定変更で利用可能
- IPv4アドレスをベースとしたプレフィックスをHGWが自動生成する



トンネル設定が不要なIPv6インターネット接続性確保技術



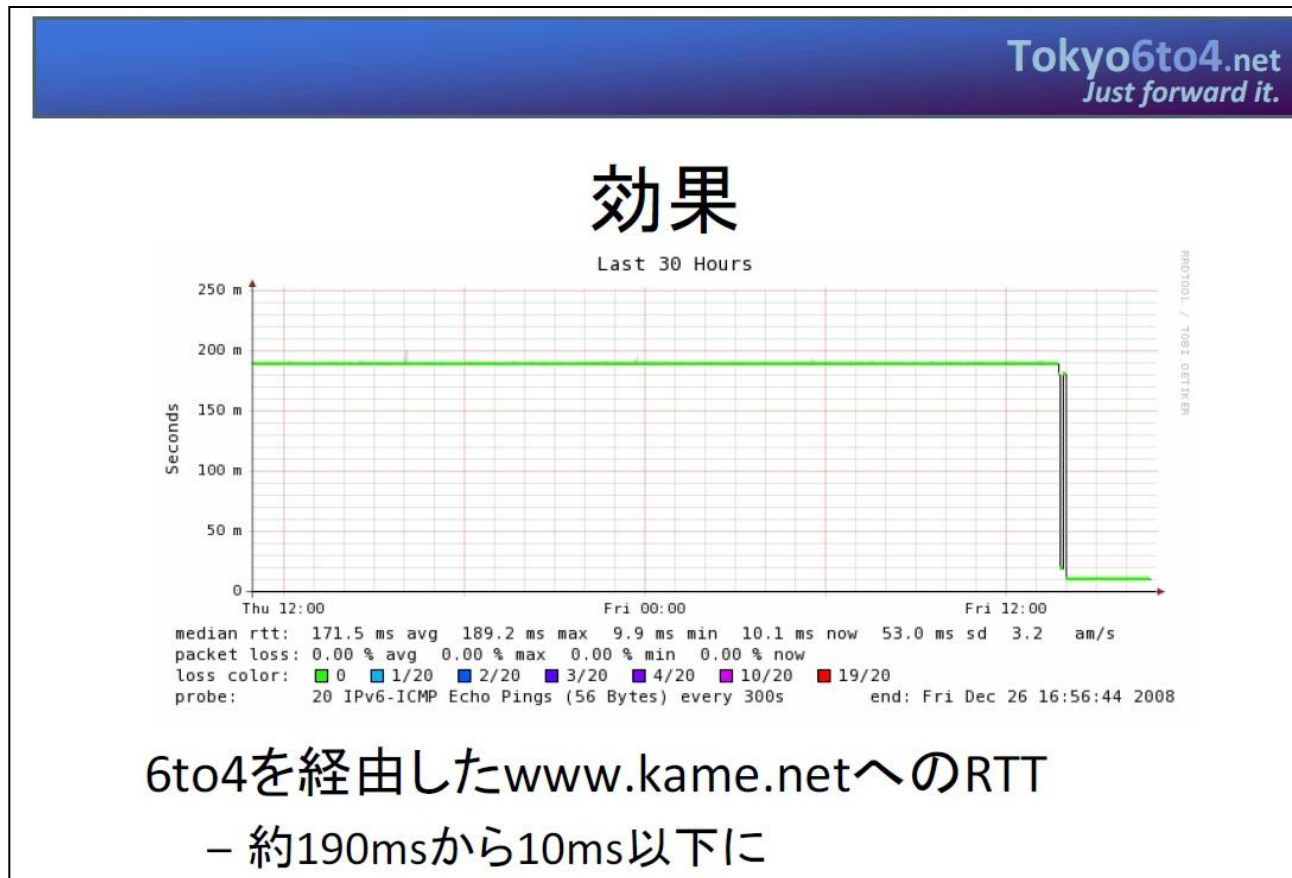
・メリット

- ・ 接続契約や登録は不要
- ・ IPv4アドレスをベースとしたプレフィックスを自動生成する
- ・ RFC3056にて仕様が規定されており、実装が豊富（Win, Mac, UNIX, ブロードバンドルータも存在）
 - ・ Windows Vista, 7 では標準機能として提供される

・デメリット

- ・ 経路制御が難しい（行きと帰りが非対称）
- ・ IPv4グローバルアドレスを必要とする
- ・ リレールータの信頼性に課題（どこのリレールータを通るかわからない）

- ・ 日本国内(JPIX)で、6to4リレールータが実験運用されている
- ・ IPv6インターネットへの接続性が改善

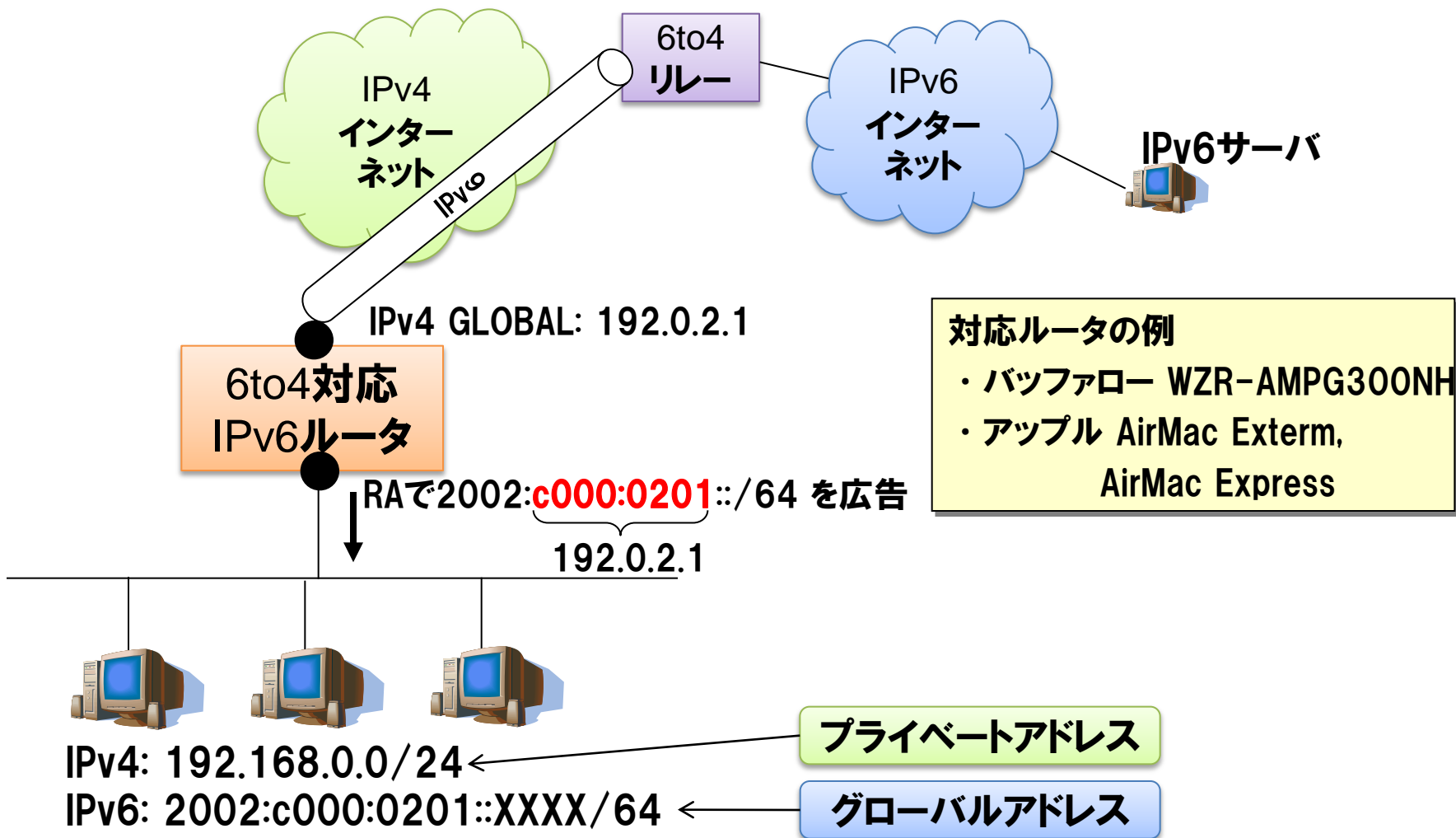


(出典) <http://www.tokyo6to4.net/>



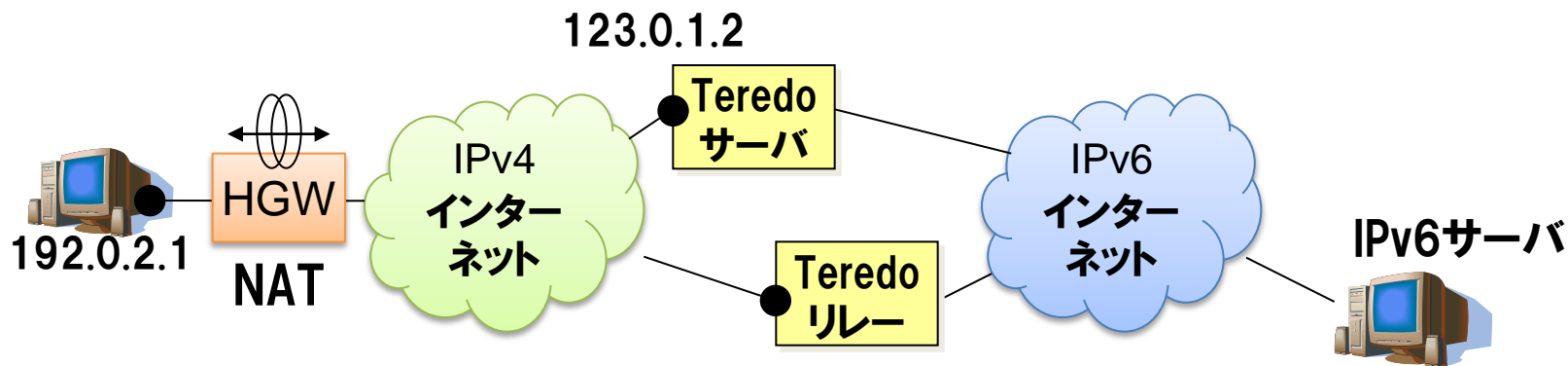
NTT 6to4対応ブロードバンドルータを使った外部接続

プライベートIPv4アドレスをもつデュアルスタック端末でもIPv6外部接続が可能





トンネル設定が不要なIPv6インターネット接続性確保技術



・ メリット

- ・ 6to4と同様に接続契約や登録は不要
 - ・ IPv6アドレスをIPv4アドレスから自動生成する
- ・ NATに対応。プライベートIPv4アドレスの端末でも使用可能
 - ・ Symmetric NAT に対応が難しい
- ・ Windows Vista, 7 では標準機能として提供される

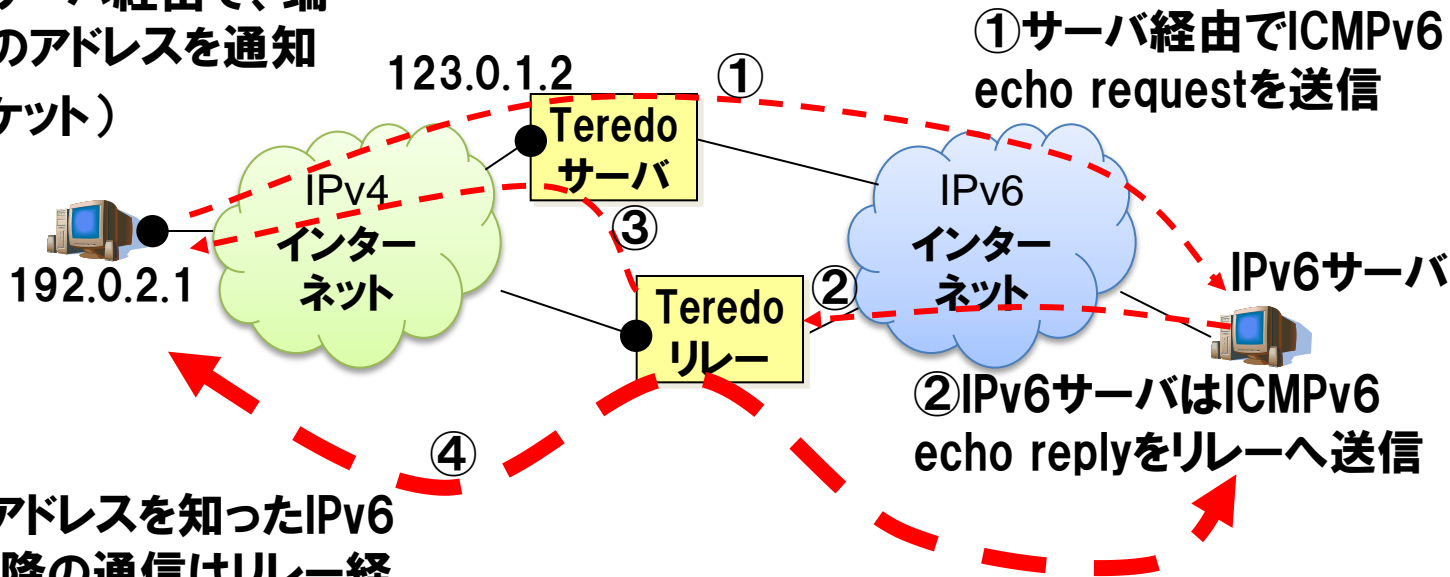
・ デメリット

- ・ パブリックに利用可能なサーバー・リレールータが少ない
- ・ IPv6アドレスが端末情報を多く含む セキュリティ面の懸念
 - ・ 待受(開放済み)ポートなどの情報が含まれるため



Teredoの動作例

③リレーはサーバ経由で、端末へリレーのアドレスを通知 (バブルパケット)



①サーバ経由でICMPv6 echo requestを送信

②IPv6サーバはICMPv6 echo replyをリレーへ送信

④リレーのアドレスを知ったIPv6 端末は、以降の通信はリレー経由で通信を行う(対称経路)

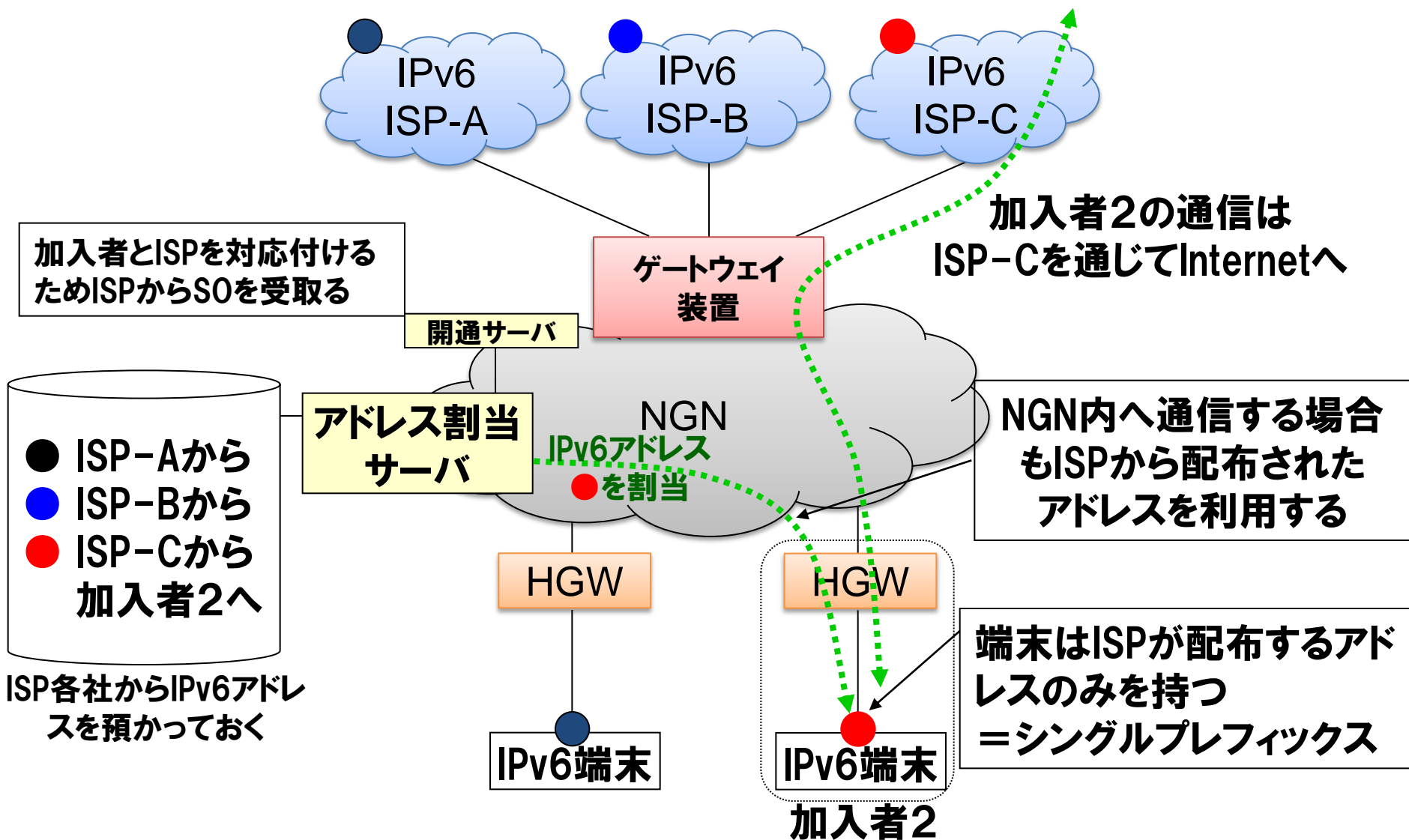
32ビット 16ビット 16ビット 32ビット

2001:0000: [サーバのIPv4アドレス] : [フラグ] : [ポート] : [端末のIPv4アドレス]

 123.0.1.2 NATタイプ判定 端末の待受ポート 192.0.2.1

- **フリービット feel6 (DTCP) – <http://start.feel6.jp/>**
 - /48サイズのプレフィックスを委譲(サイト内で再委譲が可能)
 - 固定/48 が無料で使用可能
 - Windows, Mac OS, Linux など広範なOSのサポート
 - ヤマハ製のブロードバンドルーター(RTシリーズ)がサポート
 - NAT越えには工夫(プロトコル番号41のマッピング)が必要
- **Hexago freenet6 (TSP) – <http://www.gogo6.com/>**
 - 無料で利用可能
 - ソフトウェアGPLで公開されており、多くの機種で動作可能
 - NAT越えに対応している
 - トンネル終端サーバが北米にあるため国内からの接続はやや不利

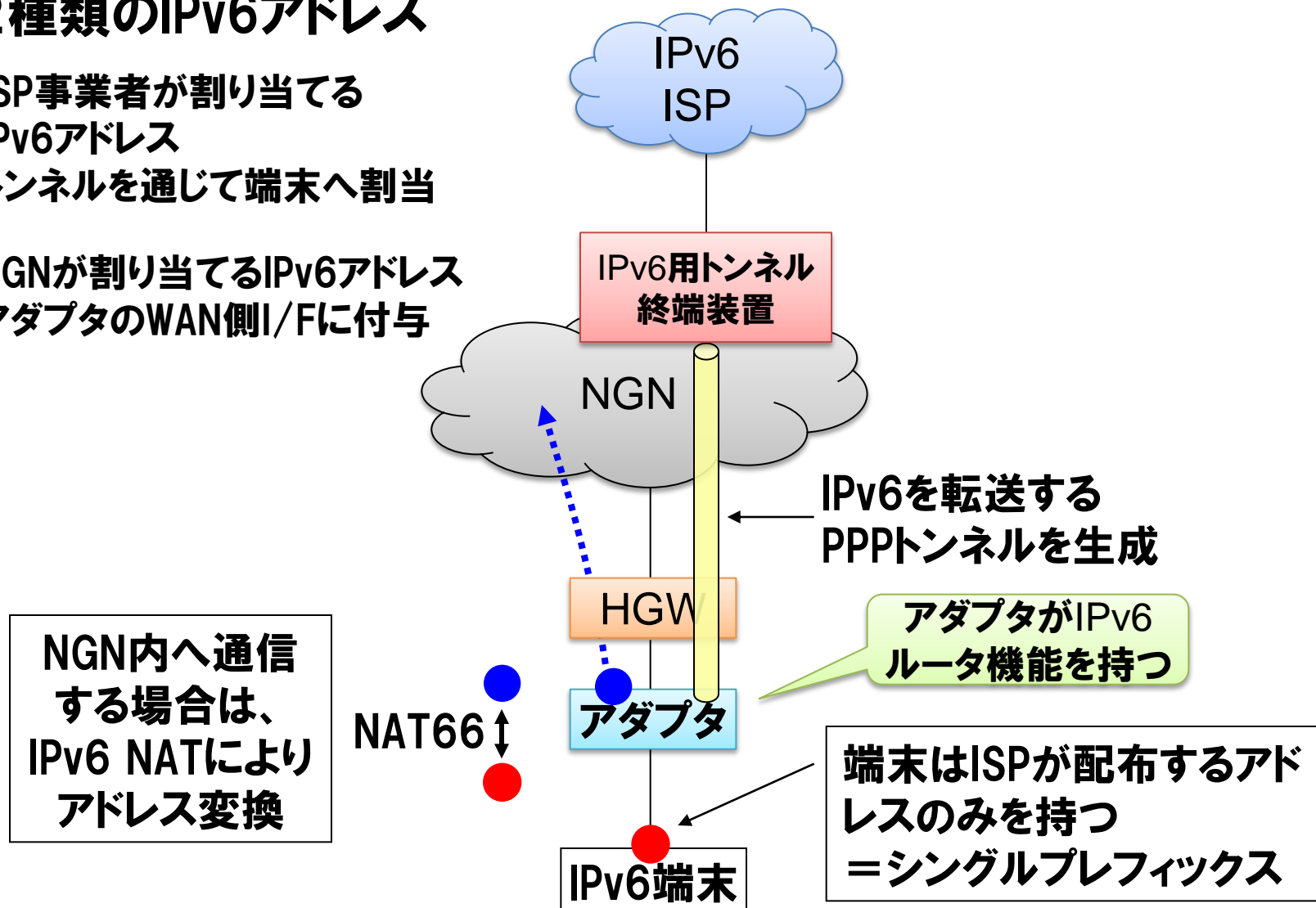
NTT NGNが提供予定のIPv6インターネットアクセス(ネイティブ方式)





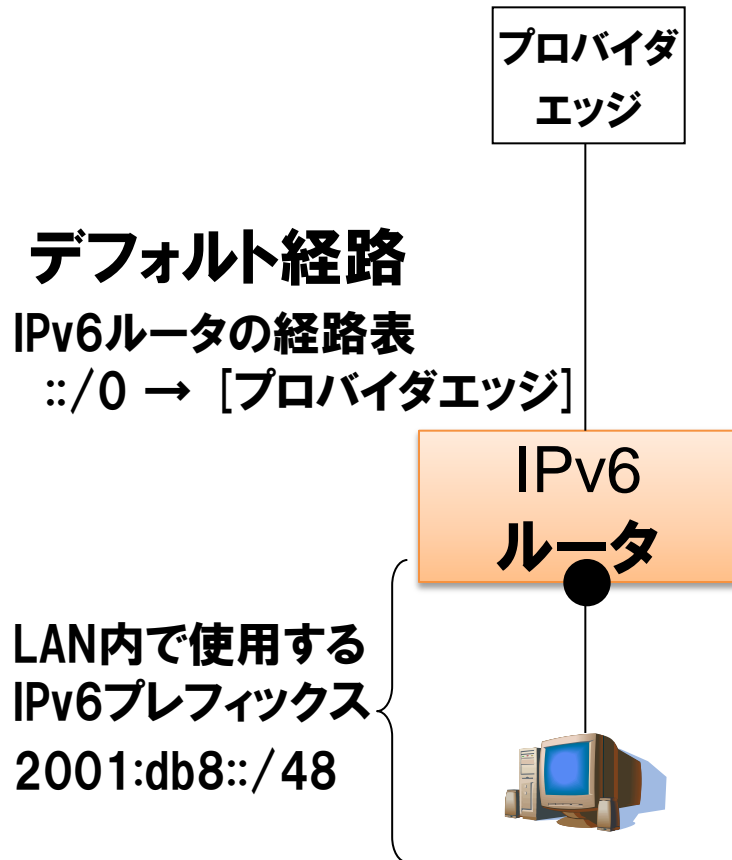
■2種類のIPv6アドレス

- ISP事業者が割り当てるIPv6アドレス
トンネルを通じて端末へ割当
- NGNが割り当てるIPv6アドレス
アダプタのWAN側I/Fに付与



IPv6アドレス割り当てと デフォルトルータの配布方式

ISPなどから家庭・SOHOネットワークへの
IPv6アドレス割り当て及びデフォルトルータ
の配布方式について



IPv6アドレスの割り当て方法

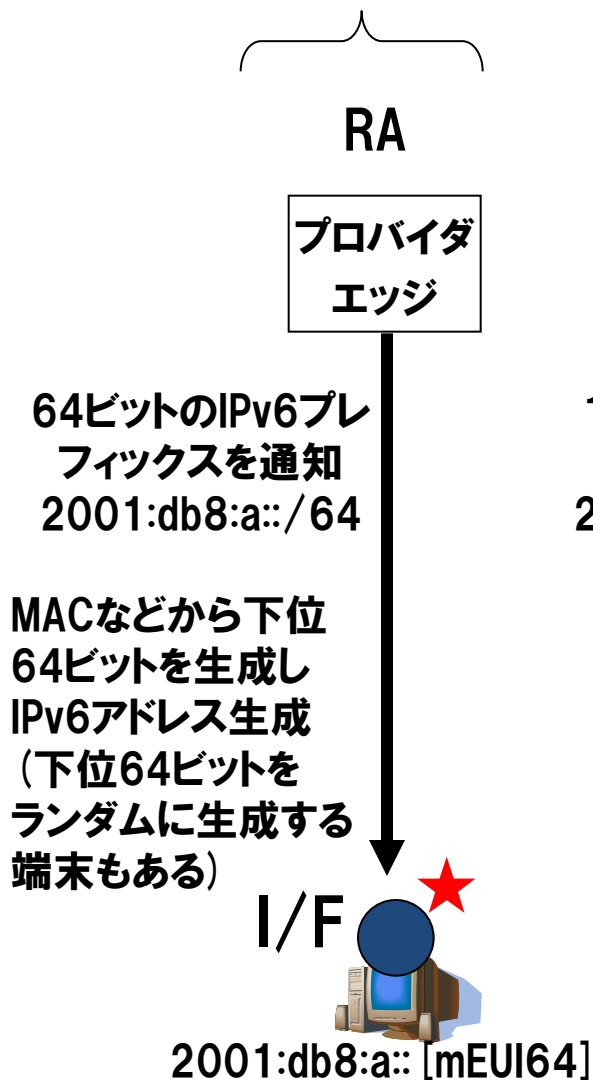
(1) 手動割り当て

- IPv6ルータにアドレス情報をあらかじめ手動設定しておく方法
- IPv6アドレス情報は書面等で通知
- 外部接続がスタティックトンネルの形態で使われることが多い

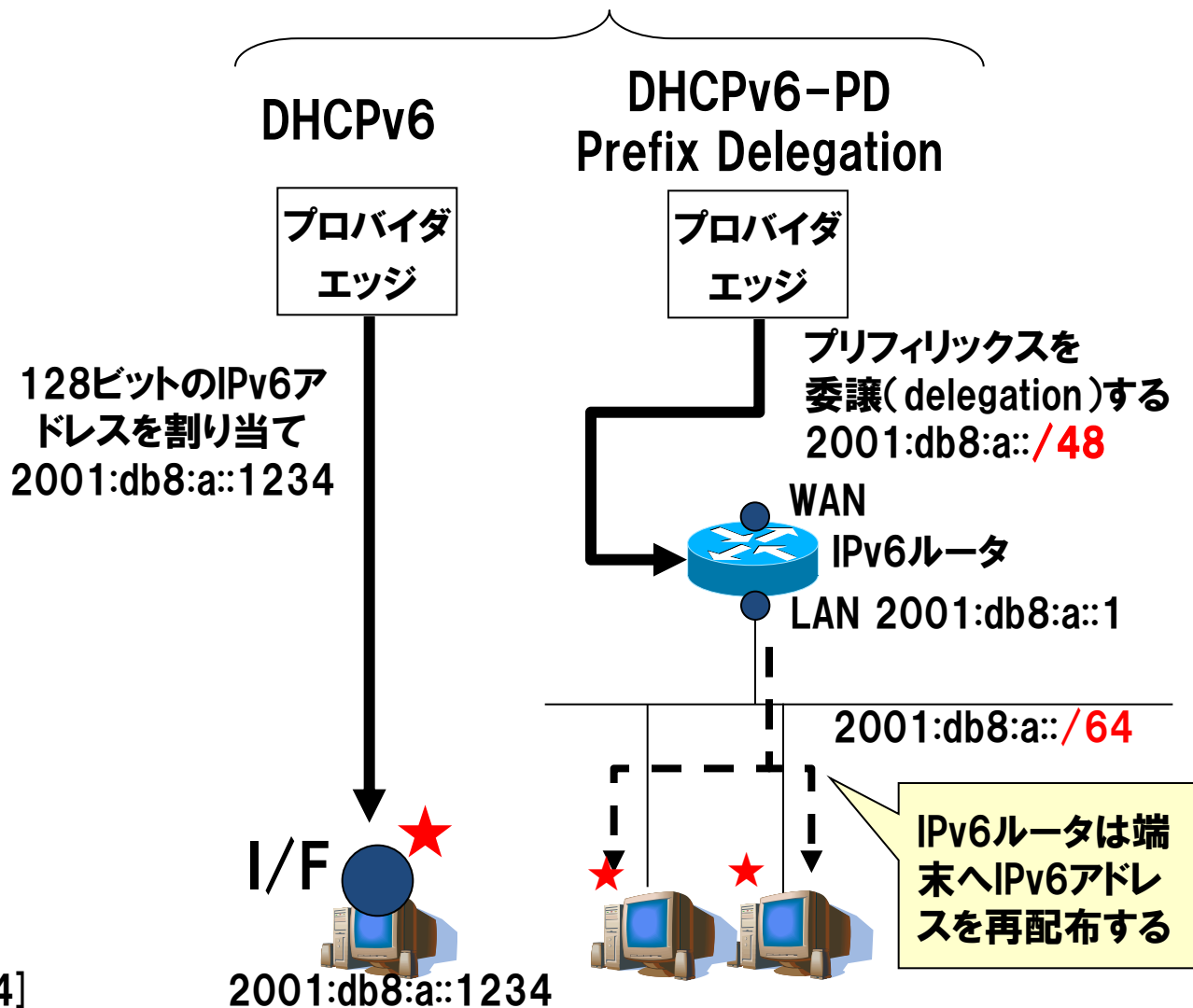
(2) 自動割り当て

- ISPからRA, DHCPv6などの自動設定プロトコルを使ってアドレスを通知する
- 固定アドレス割り当てが一般的だが動的な割り当てを行う運用も可能

ステートレスアドレス生成

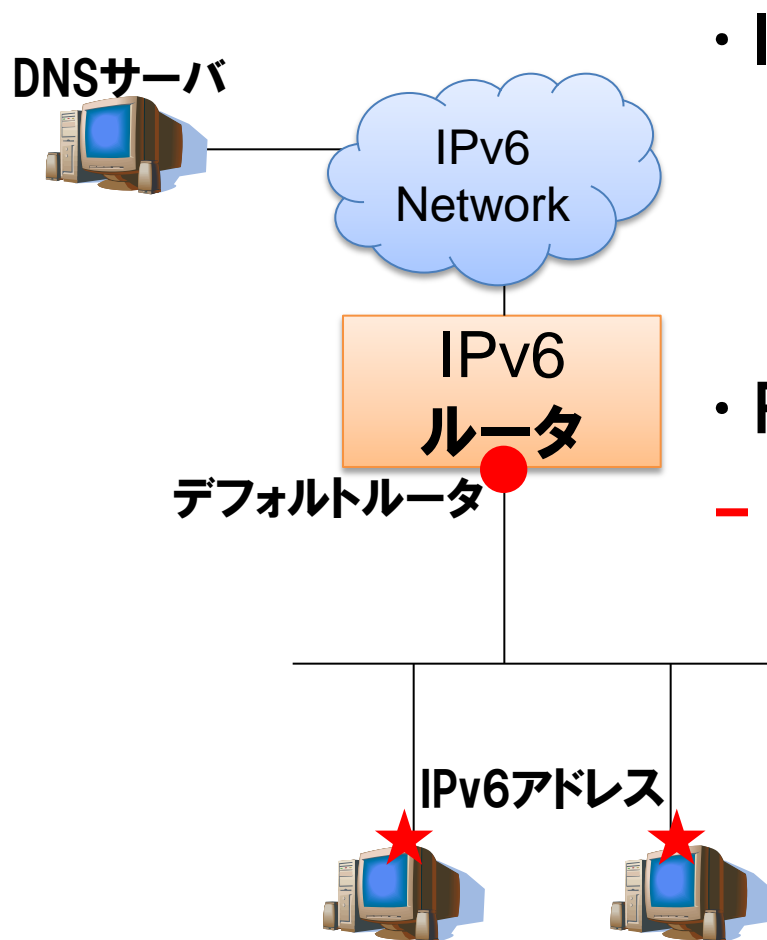


ステートフルアドレス割り当て



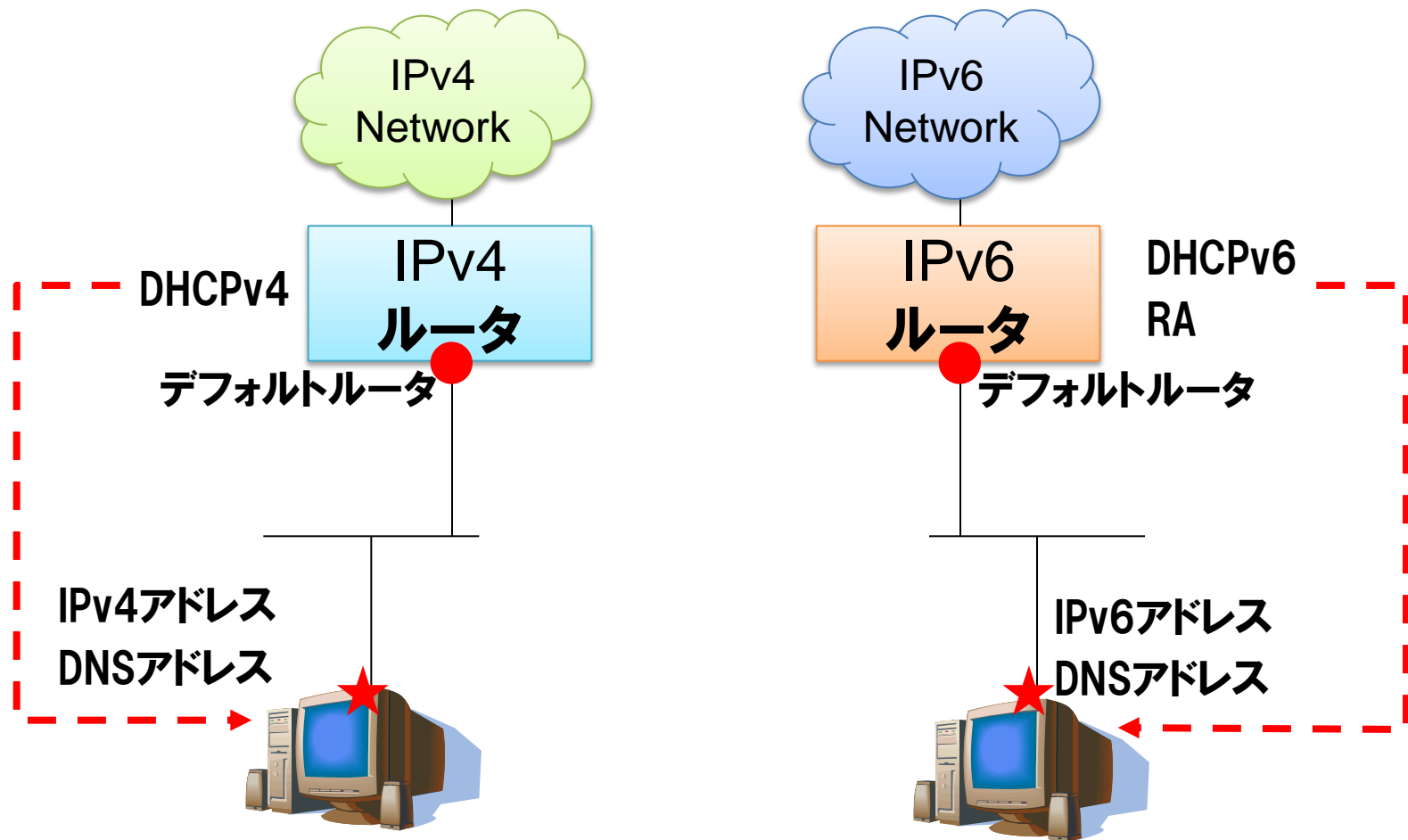
LAN内部の端末設定

**接続形態1(HGW有り)の時、つまり
IPv6ルータを管理する際のLAN内部
の端末設定について**



- IPv6ルータから端末へ付与する情報
 - IPv6アドレス
 - デフォルトルータアドレス
 - DNSサーバアドレス
- RA, DHCPv6の利用が一般的

端末OSは Windows Vista, 7などを想定



一見大きな違いがないように見えるが・・・

DHCPv4

- ・ IPv4アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ DNS情報
- ・ その他付加的情報
(NTP, SIP など)
- ・ 端末識別はMACアドレス

DHCPv6

- ・ IPv6アドレス
- ・ サブネットマスク なし！
- ・ デフォルトゲートウェイ なし！
- ・ DNS情報
- ・ その他付加的情報
(NTP, SIP など)
- ・ 端末識別はDUID

**DHCPv6はデフォルトゲートウェイ付与不可
Router Advertisement (RA)の併用が必要**



• Router Advertisement (RA)

-本来の役目は「ルータの存在」を「広告」するもの

• ⇒ 端末はRAの送信元をデフォルトゲートウェイに設定

-アドレス情報(prefix information option)はオプション

• ⇒ アドレス情報なしのRAもありえる

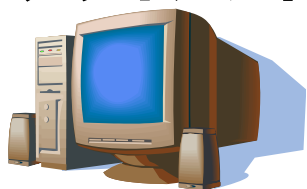
-DNSアドレス情報はRAでは通知不可(オプションがない)

• ⇒ DHCPv6との併用が必要！

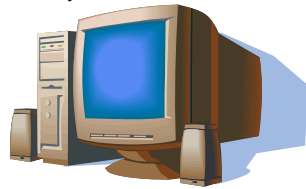
RAがもつ2つのフラグ：M/O flags(Managed/Other)

Mフラグ	Oフラグ	端末の動作
OFF(0)	OFF(0)	アドレスはRA, それ以外の情報(DNS等)は手動等の別手段で構成
OFF(0)	ON(1)	アドレスはRA, それ以外の情報はDHCPv6で構成
ON(1)	OFF(0)	アドレスはDHCPv6, それ以外の情報は手動等の別手段で構成
ON(1)	ON(1)	アドレス及びそれ以外の情報をDHCPv6で構成

クライアント



サーバ



情報
要求

INFORMATION-REQUEST
設定情報の要求

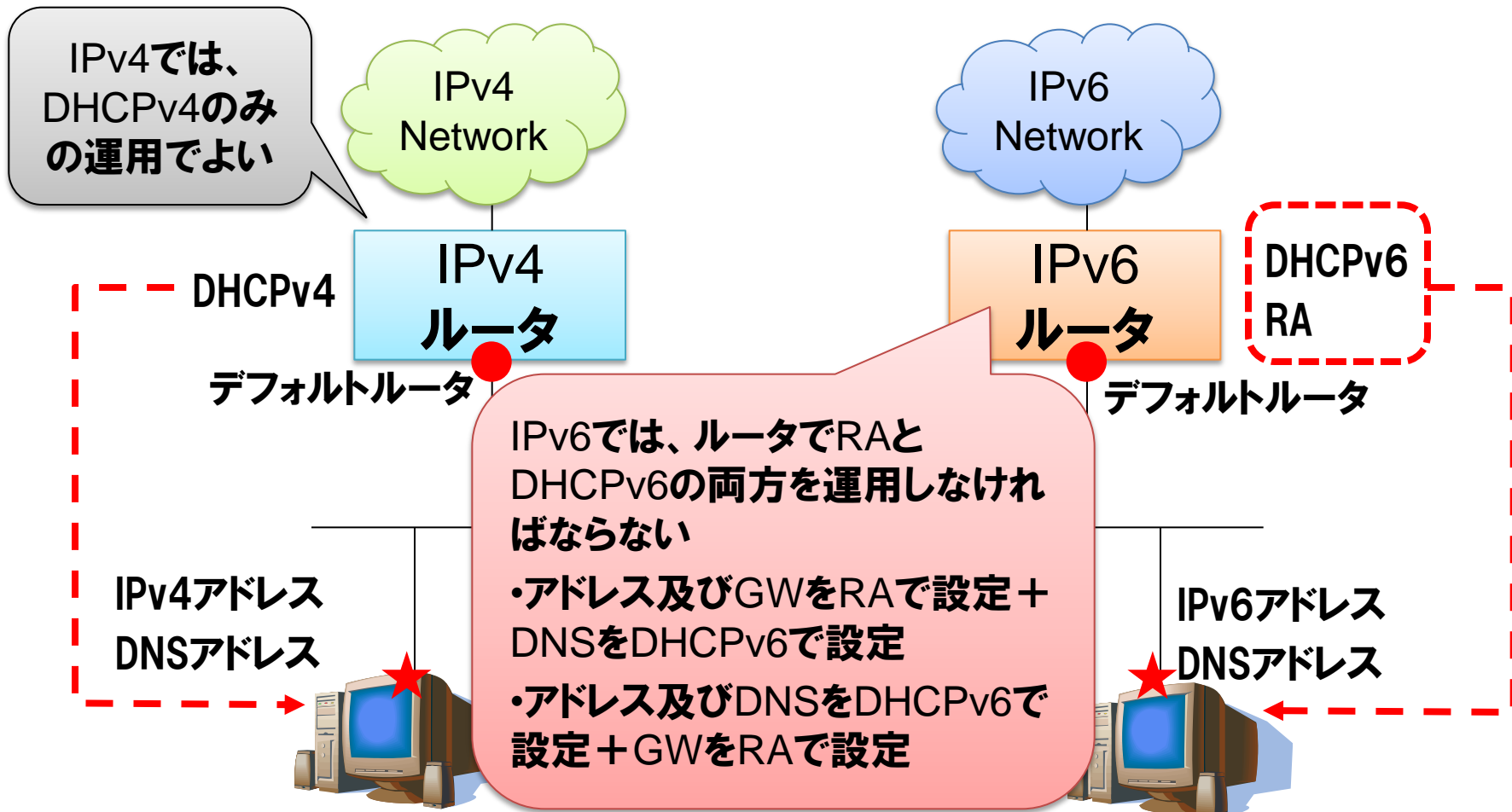
情報
取得

REPLAY
DNS, SIP, NTP, ...
設定情報を通知

- ・ サーバがクライアントの状態を管理しない

- ・ 端末の設定情報(DNS, SIP, NTP)のみを渡す

- ・ 1往復(2メッセージ)だけで情報を取得



デュアルスタックネットワーク

現状ではIPv6ネットワークのみではできることが
少なく、IPv4インターネットのほうが遙かに巨大
そこで必要になるのがデュアルスタックネットワーク

- **デュアルスタックネットワーク**

- IPv4とIPv6の両方の端末を同時に利用できるネットワーク

- **メリット**

- IPv4のみの端末もIPv6のみの端末も両方利用することが可能

- **デメリット**

- IPv4とIPv6は互換性がないため、IPv4とIPv6の二つのネットワークを同時に管理することになる

- **デュアルスタック端末**

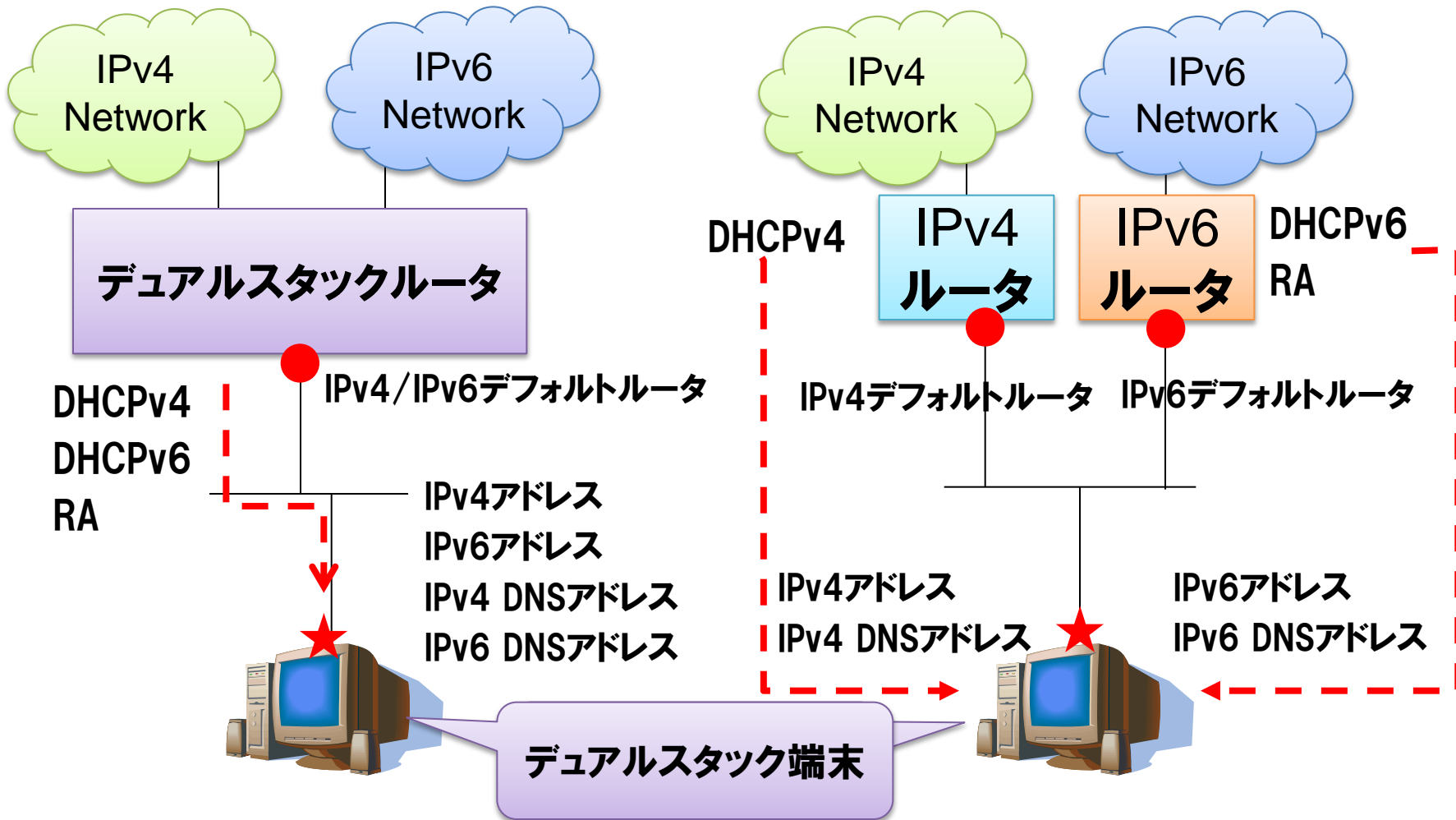
- IPv4とIPv6を同時に利用できる端末

- IPv4ネットワーク、IPv6ネットワーク、デュアルスタックネットワークの全てで利用できる

- IPv6対応のOS・端末はIPv4とIPv6を同時に利用できるデュアルスタック端末になっていることが多い

- Windows, Mac, Linux, UNIXなど

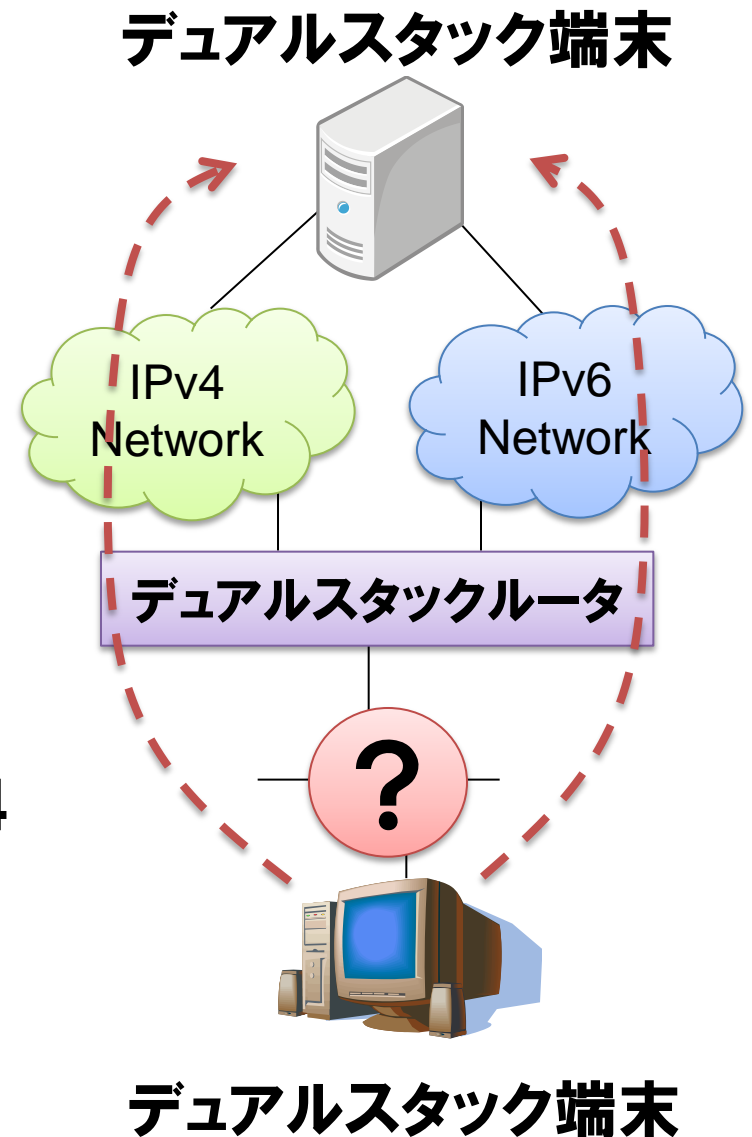
デュアルスタックネットワークの構成



1台のルータでIPv4/IPv6の両機能を運用する、もしくは2台のルータでIPv4/IPv6の機能をそれぞれ運用する

- ・デュアルスタック端末はIPv4とIPv6両方のネットワークに繋がる
 - 通信先もデュアルスタック端末の場合、IPv6を利用することが多いがIPv4を優先する時もある
 - ・ **通信先や環境により変わる**
 - ※ 端末が宛先アドレス及び送信元アドレスを複数持つ場合の選択ルールは規定されている(RFC3484)

- ・ 障害に気づきづらい
 - IPv6で障害が起きていても、IPv4で通信可能だとなかなか気づけない
 - ・ デュアルスタック端末の場合、IPv6が不通でもIPv4へ通信を切り替えるなどうまく動いてしまう



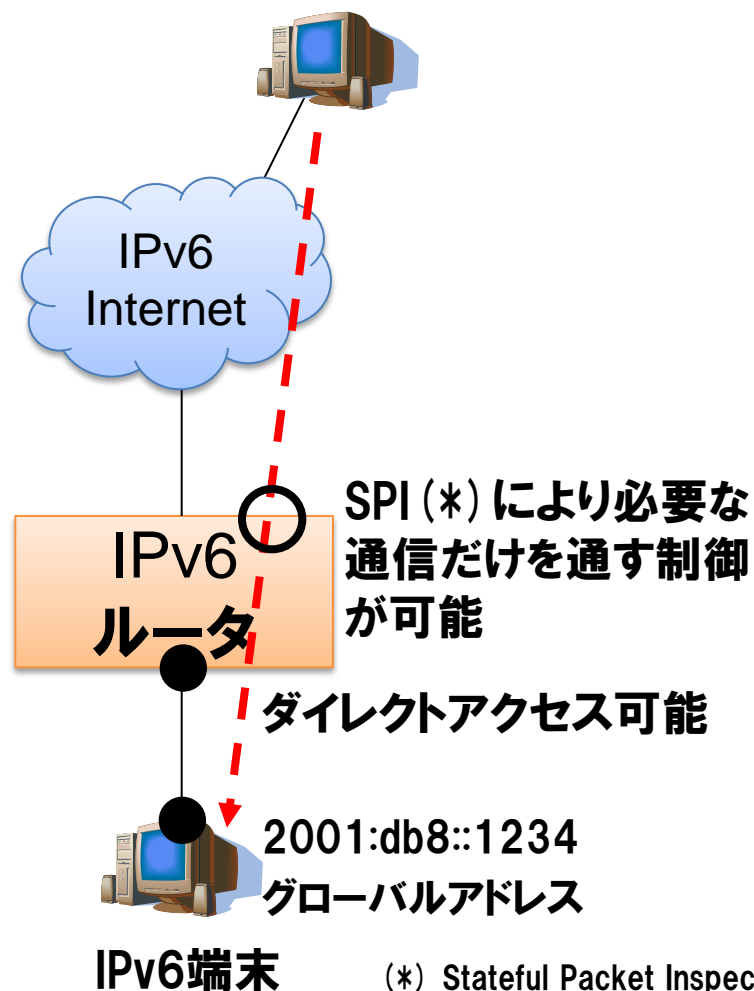
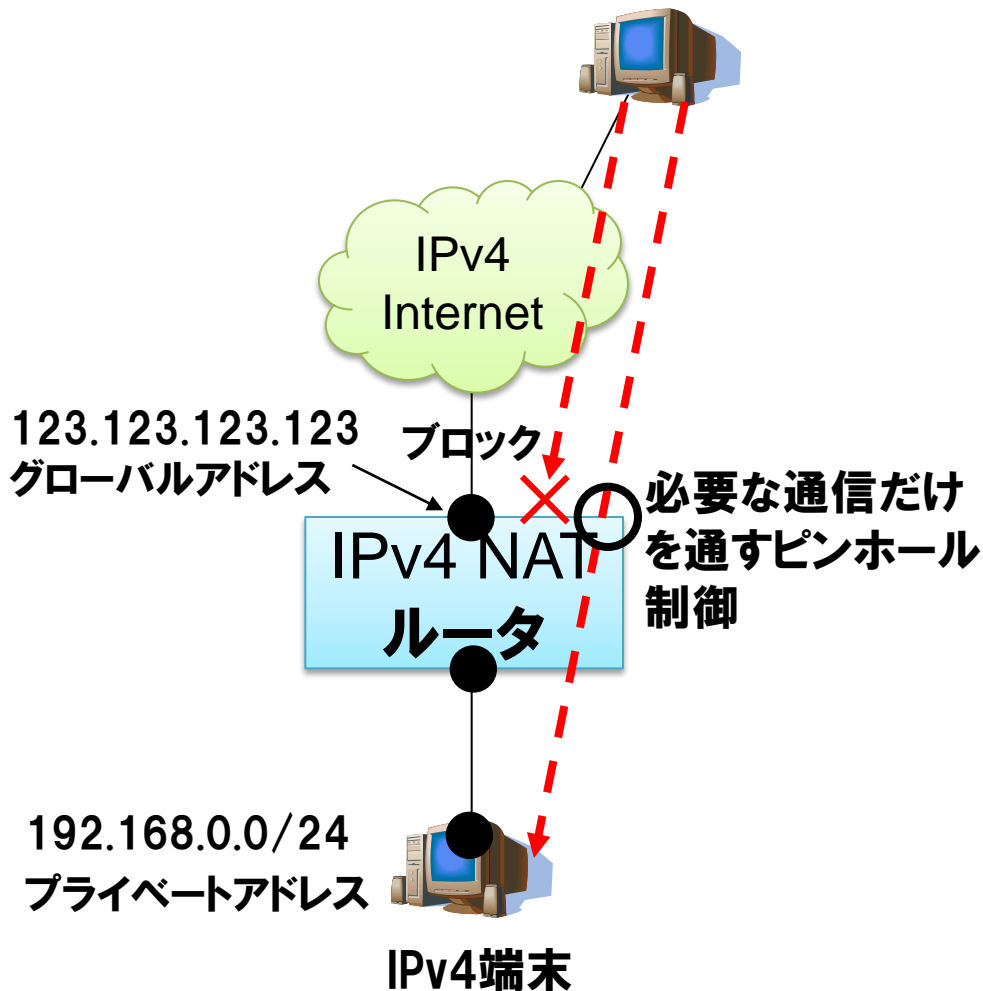
家庭・SOHO環境でのセキュリティ

デュアルスタックネットワークにおける セキュリティのポイント



適切なパケットフィルタリングでIPv4 NATと同等なセキュリティを確保

RFC4864 (Local Network Protection for IPv6) は安全性担保の方法を記述

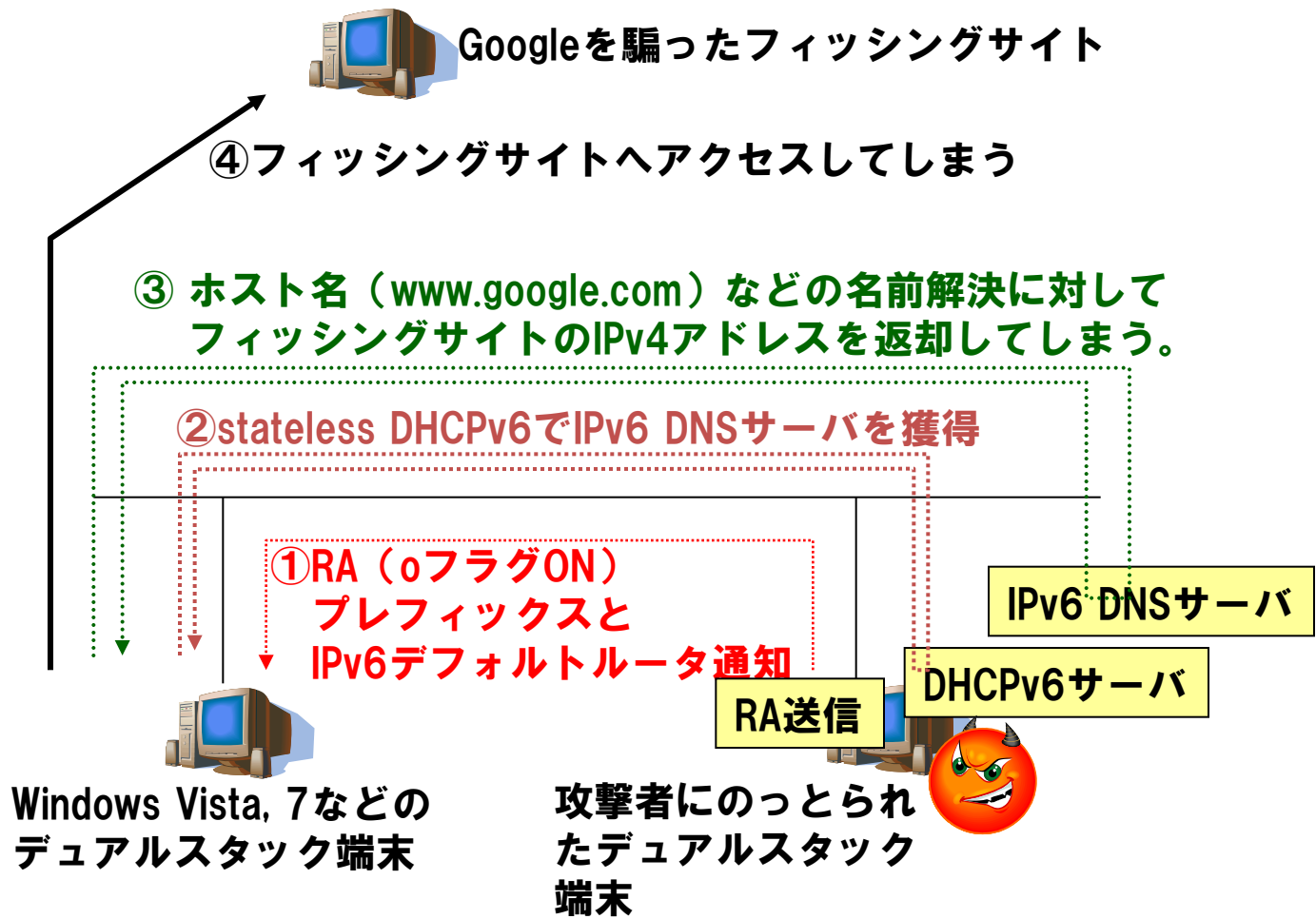


- **ファイアウォールポリシーの不整合に注意**
 - IPv4は適切なポリシーが設定されていてもIPv6は一切の制御なし、全通信が許可では意味がない
 - 基本的にIPv4/IPv6同一ポリシーで運用するのが望ましい
 - ⇒ IPv4のポリシーによってはIPv6で同一の運用ができないことに注意！（IPv6では外部との一部のICMP通信が必須）
 - ICMPv6 Type2:PMTUDで必須
 - **自動トンネルによる意図しない外部接続**
 - 6to4, Teredo
 - Windows Vista/7 では端末にIPv6アドレスが設定されない時に自動起動する
 - ⇒ 意図しない外部接続性を放置しないこと
- [対処法] LAN内部からのIPv4パケットを遮断する
- プロトコル番号41（IPv6 over IPv4トンネル, 6to4）
 - UDP ポート 3544（Teredo）

NTTデュアルスタックネットワークに対する攻撃例

デュアルスタック環境ではIPv4, IPv6が相互に影響しあう場面がある

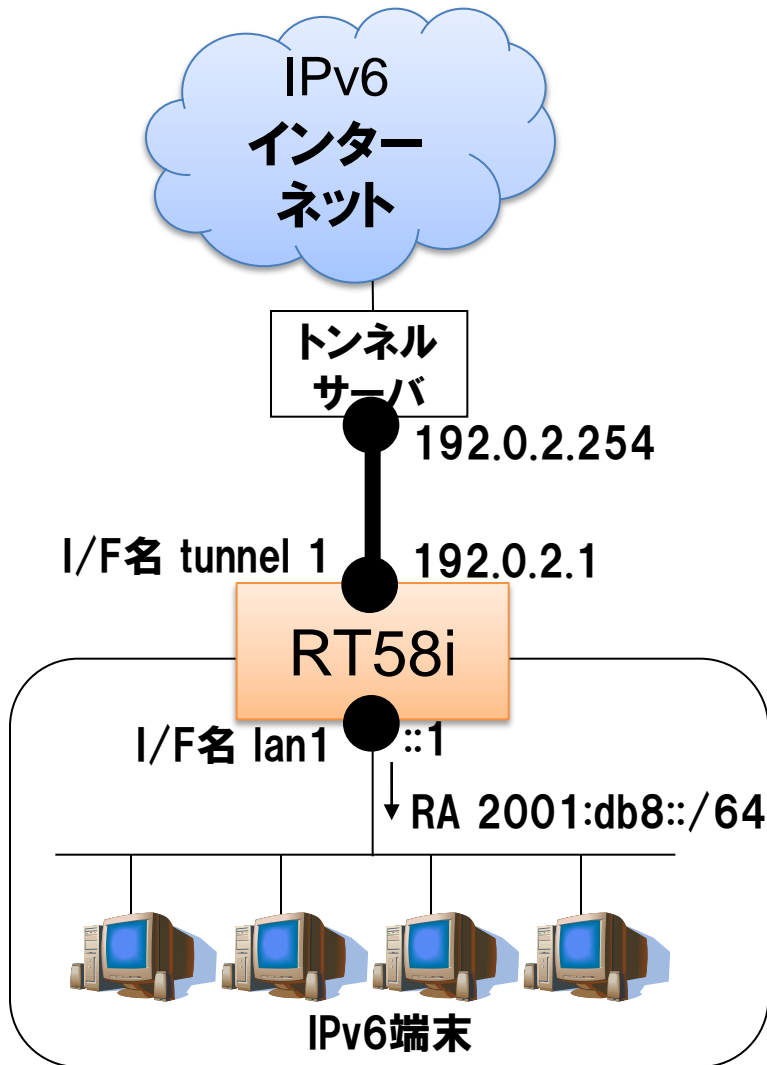
■ DHCPv6とDNSを使った攻撃例 – 多くのIPv6/IPv4デュアル端末はIPv6を優先して使用



付録

ヤマハ製ブロードバンドルータ RT58iでの設定例

IPv6 over IPv4 トンネルによる接続



・ 外部接続

- 接続方式 IPv6 over IPv4 スタティックトンネル
 - ・ 192.0.2.1 ⇔ 192.0.2.254
- プレフィックス 2001:db8::/48 を通知されている

・ 内部設定

- プレフィックス 2001:db8::/64 を端末へ割当て

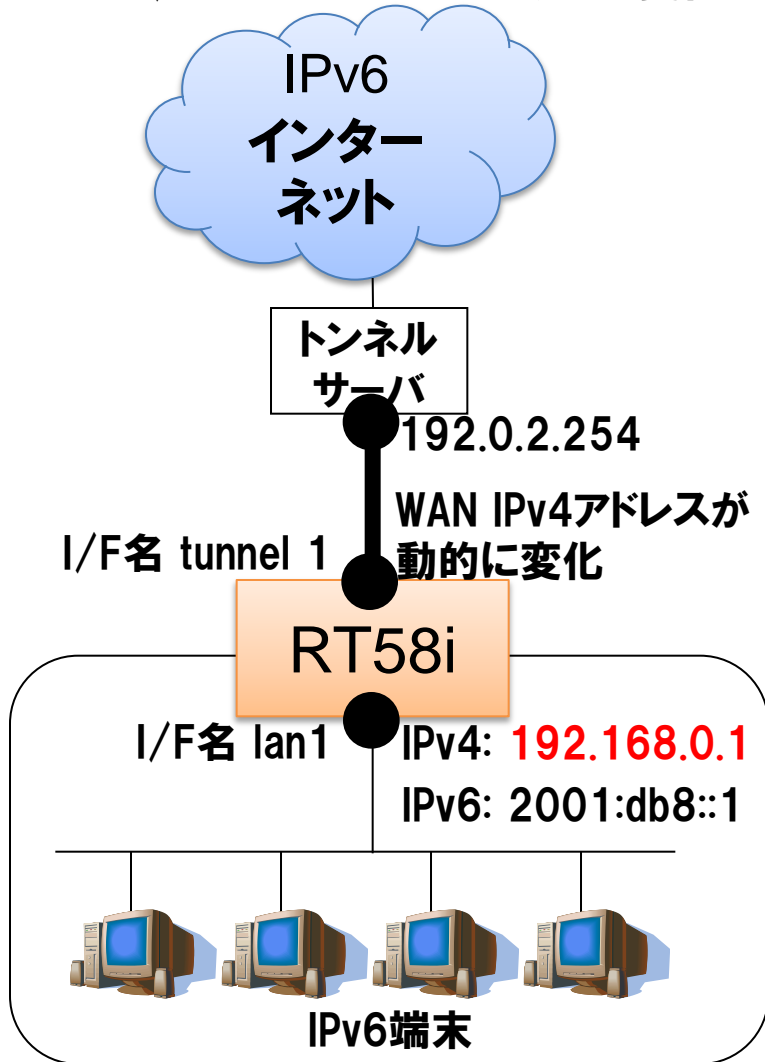
```
# IPv6ルーティングをON
ipv6 routing on

# トンネルデバイスを作成
tunnel select 1
encapsulation ipip
endpoint address 192.0.2.1 192.0.2.254
tunnel enable 1

# デフォルトゲートウェイをトンネルに向ける
ipv6 route default gateway tunnel 1

# LAN内の設定
ipv6 lan1 address 2001:db8::1/64
ipv6 prefix 1 2001:db8::/64
ipv6 lan1 rtadv send 1 o_flag=on
```


IPv6 over IPv4 トンネルによる接続
WAN側 I/F のIPv4アドレスが動的に変化



IPv6ルーティングをON

```
ipv6 routing on
```

トンネルデバイスを作成

エンドポイントを (LANプライベートアドレス) - (トンネルサーバ)

```
tunnel select 1
```

```
encapsulation ipip
```

```
endpoint address 192.168.0.1 192.0.2.254
```

```
tunnel enable 1
```

デフォルトゲートウェイをトンネルに向ける

```
ipv6 route default gateway tunnel 1
```

LAN内の設定

```
ipv6 lan1 address 2001:db8::1/64
```

```
ipv6 prefix 1 2001:db8::/64
```

```
ipv6 lan1 rtadv send 1 o_flag=on
```

NAT設定

```
nat descriptor type 1 masquerade
```

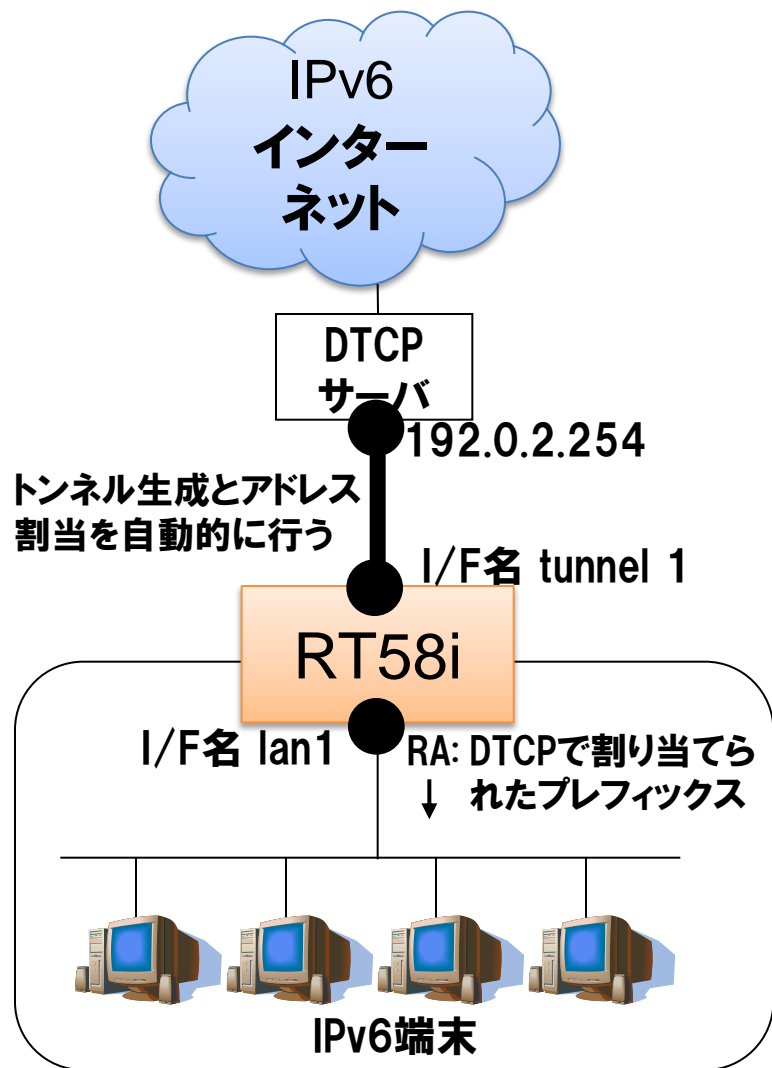
```
nat descriptor masquerade static 1 1
```

```
192.168.0.1 ipv6 *
```

```
pp select 1
```

```
ip pp nat descriptor 1
```

DTCPによるトンネル接続



IPv6ルーティングをON

```
ipv6 routing on
```

DTCPトンネルを作成 – feel6サービスへの接続例

```
tunnel select 1
```

```
tunnel dtcp dtcp.feel6.jp
```

```
myname USERID PASSWORD
```

```
tunnel enable 1
```

デフォルトゲートウェイをトンネルに向ける

```
ipv6 route default gateway tunnel 1
```

LAN内の設定

```
ipv6 lan1 address dtcp-prefix@tunnel1::1/64
```

```
ipv6 prefix 1 dtcp-prefix@tunnel1::/64
```

```
ipv6 lan1 rtadv send 1 o_flag=on
```

必要に応じてフィルタリング設定も可

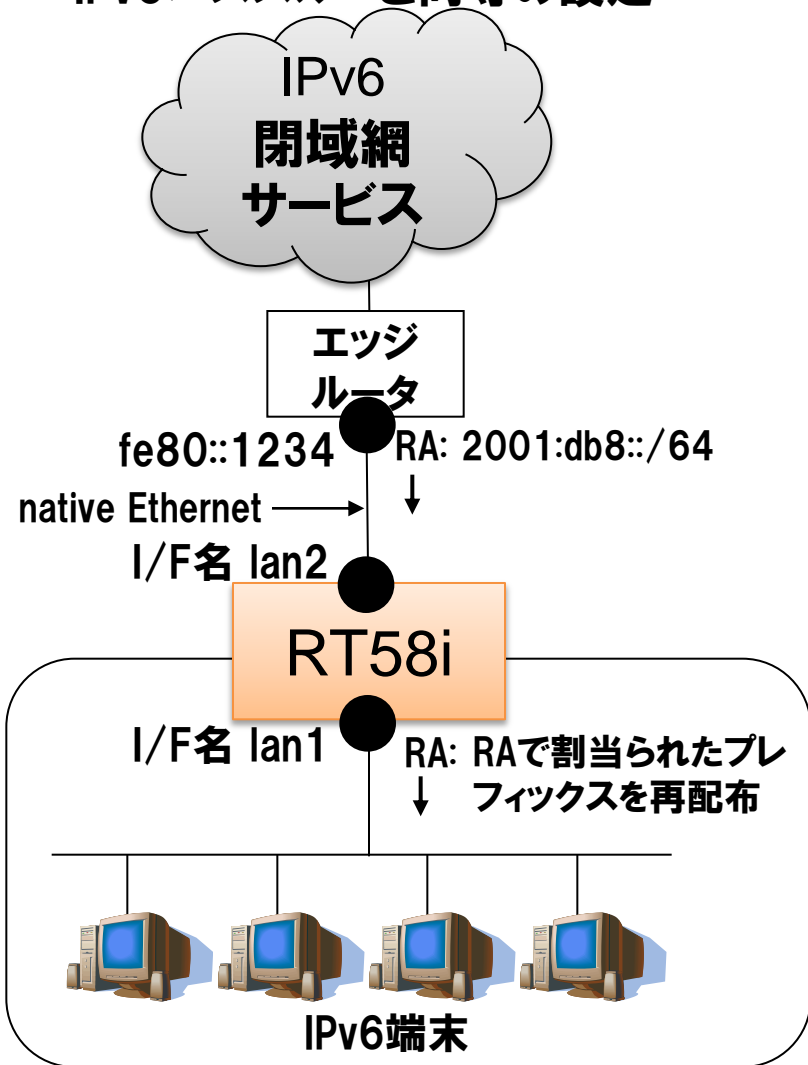
```
ipv6 filter 1 reject
```

```
dtcp-prefix@tunnel1::/64 *
```

```
ipv6 filter 2 pass
```

```
* dtcp-prefix@tunnel1::1 * tcp * www
```

RA-proxy による接続例 IPv6パススルーと同等の設定



IPv6ルーティングをON

```
ipv6 routing on
```

デフォルトゲートウェイをトンネルに向ける

```
ipv6 route default gateway tunnel 1
```

LAN内の設定

```
ipv6 lan1 address ra-prefix@lan2::1/64
```

```
ipv6 prefix 1 ra-prefix@lan2::/64
```

```
ipv6 lan1 rtadv send 1
```

RA-Proxyでも必要に応じてフィルタリング設定も可

IPv6パススルーに対応したルータでも、フィルタリングは

ほとんど実装されていない

```
ipv6 filter 1 reject
```

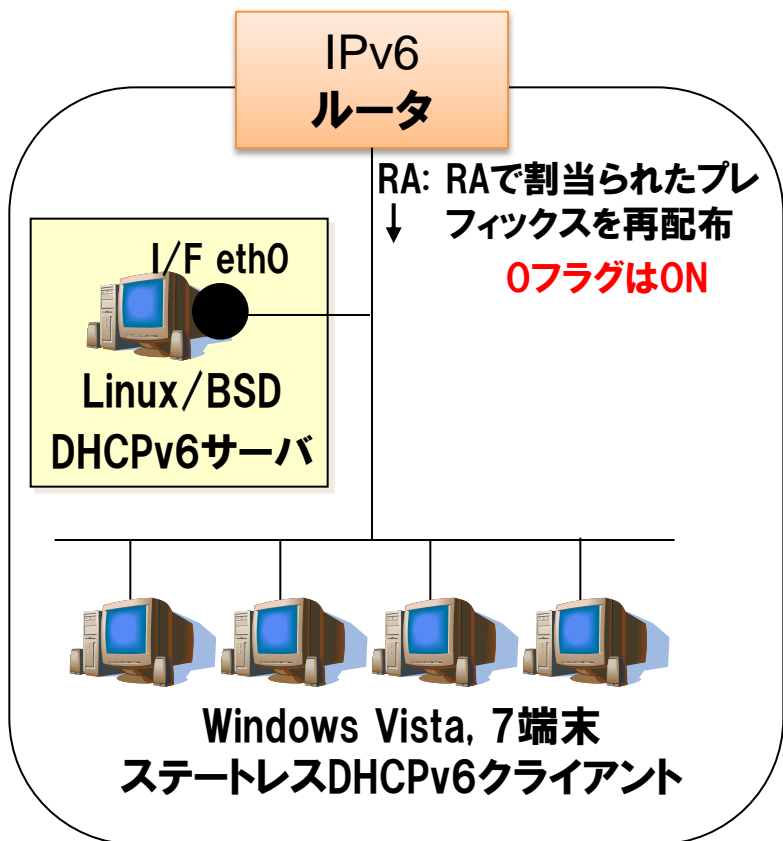
```
ra-prefix@lan2::/64 *
```

```
ipv6 filter 2 pass
```

```
* ra-prefix@lan2::1 * tcp * www
```

ステートレスDHCPv6サーバの設定例

WIDE-DHCPv6サーバによる設定例



■ステートレスDHCPv6サーバの設定と起動

dhcp6s.conf への記述内容

```
option domain-name-servers 2001:db8::53;
option domain-name "example.jp";
```

ステートレスDHCPv6サーバの起動

```
# dhcp6s -c dhcp6s.conf eth0
```

■Windows Vista 端末での情報取得の様子

```
C:¥> ipconfig /renew6
```

```
C:¥> ipconfig /all
```

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

接続固有の DNS サフィックス. : **example.jp**

DHCP 有効 : はい

自動構成有効 : はい

IPv6 アドレス : 2001:db8::XXXX (優先)

デフォルト ゲートウェイ : fe80::XXXX%1

DHCPv6 IAID : 268869872

DHCPv6 クライアント DUID . : 00-01-00-01-11-62-4C
-59-00-1C-25-9F-8C-39


DNS サーバー : **2001:db8::53**

http://sourceforge.jp/projects/sfnet_wide-dhcpv6/

家庭・SOHO向けIPv6ルータの現状



家庭・SOHO向けのIPv6ルータ製品群も選択肢が広がりつつある

メーカー 機種名	主な特徴	参考 価格
NEC UNIVERGE IX2005 	IPv6ルーティングのほか、IPsec, VRRP, QoSなど高度な機能に対応した企業向け	6万円 程度
アライドテレシス CentreCOM AR415S 	IPsec, VRRP, IEEE802.1x など、高度な機能に対応した企業向けVPNアクセスルータ	6万円 程度
ヤマハ NetVolante RT58i 	IPv6ルーティング, SPIファイアウォールを搭載 DTCP, RA proxy (NTTフレッツ向け機能)	3万円 程度
バッファロー WZR-AMPG300NH 	Win Vista Premiumロゴ取得。6to4でのIPv6インターネットアクセスをサポートしている	1~2万 円程度
アップル AirMac Extreme, AirMac Express TimeCapsule 	6to4によるIPv6インターネットアクセスをサポート。Extremeはファイアウォール機能を装備	16,800円 9,800円 29,800円
コレガ CG-BARPRO6 	OCN IPv6への接続機能をサポート 現在は販売終了	1万円 未満